科目名	作詞・作曲2							年度	2026
英語科目名	Songwriting and Composition 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	RINA MOON		教員の実務経験		有	実務経験の職種		作詞家	

【科目の目的】

個人のアーティスト活動やオーディションでパフォーマンス出来る、オリジナル楽曲を制作できるようになることを目的とする。メロディ作り、コード付け、作詞など音楽制作を行う上で必要不可欠なスキルを幅広く学び、授業内で制作した楽曲は、修了・卒業ライブなどで発表する。

【科目の概要】

「作曲」と「作詞」の二軸を中心とし授業を進めていく。音楽基礎など他の授業で学んだことが作曲とどのように関わり、どう活かしていけるのかを実際に試行錯誤しながら音楽制作を学んでいく。
また、楽器を演奏できる学生は楽器を用いながら、そうでない学生はクリエイターの学生とペアを組むなどしてメロディーとコードを作成することも可能。イントロ、A、B，サビなどのJ-POPのひな形を理解し、リファレンスとなる構成を決めて制作を進めていく。

【到達目標】

A. 歌詞のテーマを設定できる
B. メロディとリズムに合わせて作詞ができる
C. 文法について理解できる
D. 様々な表現技法を理解できる
E. オリジナル楽曲を制作できる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	歌詞のテーマを設定でき、実際に活用できる		歌詞のテーマを設定できる		歌詞のテーマを設定できない
到達目標 B	メロディとリズムに合わせて作詞ができ、実際に活用できる		メロディとリズムに合わせて作詞ができる		メロディとリズムに合わせて作詞ができない
到達目標 C	文法について理解でき、実際に活用できる		文法について理解できる		文法について理解できない
到達目標 D	様々な表現技法を理解でき、実際に活用できる		様々な表現技法を理解できる		様々な表現技法を理解できない
到達目標 E	一曲以上オリジナル楽曲を制作できる		オリジナル楽曲を制作できる		オリジナル楽曲を制作できない

【教科書】

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	作詞・作曲2	年度	2026
英語表記	Songwriting and Composition 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	作詞①	作詞スキル上達のための習慣を学ぶ	1	アイデアノート	アイデアノートの重要性を理解できる		
			2	キャッチコピー	キャッチコピーの研究の重要性を理解できる		
			3	楽曲研究	楽曲研究の重要性を理解できる		
2	作詞②	詞のテーマを設定する	1	主人公	詞の主人公を設定できる		
			2	季節	詞の季節を設定できる		
			3	内容	詞のおおまかな内容を設定できる		
3	作詞③	一番伝えたいこと(メインフレーズ)を決める	1	メインフレーズ	メインフレーズを作成できる		
			2	印象に残る言葉	印象に残る言葉の選び方を理解できる		
			3	共感性	共感性について理解できる		
4	作詞④	メロディに詞を付ける	1	メロディライン	メロディラインを分析できる		
			2	イントネーション	イントネーションに注意して作詞できる		
			3	アクセント	アクセントに注意して作詞できる		
5	作詞⑤	リズムに詞を付ける	1	リズムの区切り	リズムの区切り位置に注意して作詞できる		
			2	音符数	音符数に注意して作詞できる		
			3	言葉のリズム	言葉のリズムを意識して作詞できる		
6	作詞⑥	話し言葉と書き言葉について学ぶ	1	話し言葉	話し言葉について理解できる		
			2	書き言葉	書き言葉について理解できる		
			3	使い分け	適切に使い分けができる		
7	作詞⑦	文節と文字数について学ぶ	1	文法の基礎	文法の基礎について理解できる		
			2	文節	文節について理解できる		
			3	文字数	適切な文字数について理解できる		
8	作詞⑧	一人称、二人称の印象の違いを学ぶ	1	普段の呼び方	自分の普段の呼び方について理解できる		
			2	一人称の種類	一人称の種類について理解できる		
			3	二人称の種類	二人称の種類について理解できる		
9	作詞⑨	キャッチーなフレーズの作り方を学ぶ	1	単語の融合	別の単語同士を融合し新しい言葉を生み出せる		
			2	リフレイン	リフレインについて理解できる		
			3	刷り込み	刷り込みについて理解できる		
10	作詞⑩	比喩表現について学ぶ	1	メタファー(隠喩)	メタファー(隠喩)について理解できる		
			2	直喩	直喩について理解できる		
			3	その他の比喩表現	その他の比喩表現について理解できる		

11	作詞⑪	擬人法と象徴について学ぶ	1	擬人法	擬人法について理解できる		
			2	象徴	象徴について理解できる		
			3	効果的な使い方	効果的な使い方について理解できる		
12	作詞⑫	体言止め、倒置法について学ぶ	1	体言止め	体言止めについて理解できる		
			2	倒置法	倒置法について理解できる		
			3	効果的な使い方	効果的な使い方について理解できる		
13	作詞⑬	対比法(対句)について学ぶ	1	意味の対比	意味の対比について理解できる		
			2	構造の対比	構造の対比について理解できる		
			3	効果的な使い方	効果的な使い方について理解できる		
14	作詞⑭	反復法、省略法について学ぶ	1	反復法	反復法について理解できる		
			2	省略法	省略法について理解できる		
			3	効果的な使い方	効果的な使い方について理解できる		
15	発表会	1年次に制作した作品(歌詞)を発表する	1	プレゼンテーション	自分の作品をプレゼンできる		
			2	批評	他者の作品を批評できる		
			3	講評	講師から講評をもらい、新しい課題を設定できる		
評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他 自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							